

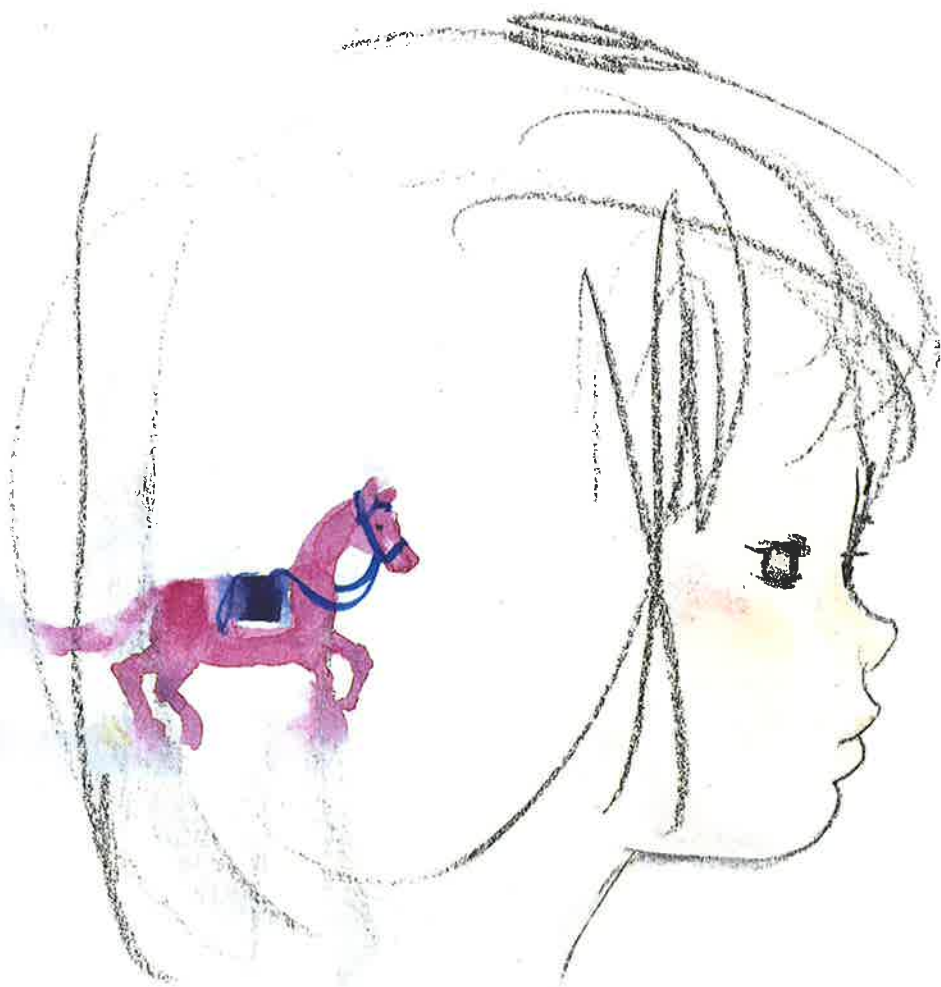


秋田雨雀・土方与志記念

青年劇場

先生の器 聴診の青い馬

いのちをみまもるあたたかい目がそこにある。



高橋正圀 Ⅱ 作
松波喬介 Ⅱ 演出

美術 Ⅱ 石井強司

照明 Ⅱ 河崎浩

音響効果 Ⅱ 菊池弘二

衣裳 Ⅱ 宮岡増枝

舞台監督 Ⅱ 荒宏哉

演出助手 Ⅱ 板倉哲

宣伝美術

Ⅱ (株)アイデス・プランニング

医事考証 Ⅱ 山本一視

製作 Ⅱ 大屋寿朗

【出演】

小竹伊津子

藤井美恵子

葛西和雄

藤木久美子

中谷源

伊藤かおる

板倉哲

湯本弘美

杉本光弘

大木章

大嶋恵子

奥原義之

大山秋

相楽満子

矢野貴大

小泉美果

枯木彩那



秋田雨雀・土方与志記念
青年劇場

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-9-20 間川ビル 4F
TEL 03(3352)6922 FAX 03(3352)9418

いわさきちひろ 紫色の馬と少女 1971年

青ひげ先生の聴診器

高橋正樹=作
松波喬介=演出



青ひげ先生、再び。震災をこえて！

2011年3月11日、「青ひげ先生の聴診器」の上演期間中に起きた東日本大震災。頻発する余震と長引く交通の混乱、そして、日に日に深刻さを増していく原発事故報道の不安の中で、この作品は、その後の上演を中止せざるを得ませんでした。あの日からまる四年が過ぎる2015年春、震災を経験した青ひげ先生が、再び立ち上がり、日本の医療の今を問いかけ、日本全国を巡ります。

ものがたり

花里市の花里病院は住民の力で運営されている。2015年3月、院長室では今年も「市民まつり」に向け、職員劇「水戸黄門」の稽古が始まったが、医師・看護師不足の折、多忙で顔が揃わない。病棟には孤独な千代ばあさんの叫び声。今日も響き、末期ガンの青年は「パチンコしたい」とつぶやく。患者の人生に寄り添おうと知恵を寄せ合うスタッフたち。震災と原発事故の直後から、彼らも全国の仲間とともに、被災地支援を続けてきた。被災地の医療の役割は大きく、彼らの生き方にもまた大きく影響を与えていた。院長「青ひげ」の息子、研修医の太郎も被災地での医療を体験し、先端医療か僻地医療か進む道に思い悩む。この病院の研修医の彩乃も青ひげに憧れつつも進路を決めかねている。3・11後の日本で、どんな生き方を選択するのか。太郎と彩乃は語り合う。

今、医療が、日本が危ない

済生会栗橋病院院長補佐 本田 宏

医療費に国論で先進国最低に医療費と医師数を抑制した日本。崩壊する医療現場を見事に切り取った「青ひげ先生の聴診器」を私が観たのは、2011年3月4日、その7日後に大震災が発生して公演は中止を余儀なくされた。震災後の日本では、日本資本主義の神とされる渋沢栄一が明治時代に嘆いていた、官尊民卑の官僚と社会貢献意識が乏しい経済人が、世襲や天下り議員・大手メディアをフルに活用し、尖閣諸島問題等で国民の不安感を煽りながら、フレプトクラシー（収奪・盗賊政治）を盤石化させてきた。社会保障充実のため消費税を増税し、医療や福祉はさらに切り捨てる一方で軍事費は増大、目の前で「原発村」住民が「軍事村」に引っ越しを開始している。国民の幸福度が高い国家を目指すには、フレプトクラシーからの脱却が必要最低条件、3・11以降の日本の状況も加味された2015年版「青ひげ先生の聴診器」が、日本を見直すきっかけになることを心から期待している。

出演



小竹伊津子



藤井美恵子



葛西和雄



藤木久美子



中谷源



伊藤かおる



板倉哲



湯本弘美



杉本光弘



大木章



大嶋恵子



奥原義之



大山秋



相楽満子



矢野貴大



小泉美果



枯木彩那

2015年 **2月22日(日) 14:00開演 (13:30開場)**

岡山市民会館 岡山市北区丸の内2丁目1-1 TEL086-223-2165
路面電車「東山行き」城下停留所下車、徒歩3分

全席自由 一般 3,500円 大学生・専門学校生 2,000円
高校生以下 1,000円 (当日売りはそれぞれ500円増)

主催/岡山県民医連青ひげ公演実行委員会

後援/岡山市民劇場 岡山医療生協 倉敷医療生協 林精神医学研究所 岡山中央福祉会
(株)協同プランニング 岡山県医労連 岡山県人権連

お問合せ/岡山県民主医療機関連合会 TEL086-214-3911

〒700-0054 岡山市北区下伊福西町1-53 岡山県民主会館3F FAX086-214-3914 okayama@min-iren.gr.jp

あなたと民医連をつなぐ月刊誌
MIN-IREN
いつでも元気

仲間増やしや健康づくり、平和問題、医療問題など見て楽しい、読んで役に立つ記事が満載です。
ぜひご購入ください。

月額 380円 毎月15日発送
編集：全日本民医連 発行：保健医療研究所

お問合せ
〒113-0034
東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター
株式会社 保健医療研究所
TEL 03(5842)5656 / FAX 03(5842)5657